

平成 30 年度家畜共同育成場指定管理者評価委員会による評価結果

1 開催日時・場所

平成 30 年 6 月 27 日（水） 午後 1 時 20 分から午後 4 時 10 分まで
静岡県家畜共同育成場

2 指定管理者

公益社団法人静岡県畜産協会

3 指定管理期間及び評価対象期間

- (1) 指 定 期 間 平成 29 年 4 月 1 日 ～ 平成 34 年 3 月 31 日
(2) 評価対象期間 平成 29 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日（年度評価）

4 評価委員（委員長：○印）

区分	氏名（敬称略）	所属・役職
学 識 経 験 者	○梨木 守	一般社団法人日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー
財務会計の専門家	土田卓也	Con. T 代表
利用者代表	市瀬晶菜	富士開拓農業協同組合 組合員
利用者代表	柴田佳寛	掛川市農業協同組合 組合員
畜産関係団体代表	村井 裕	静岡県農業共済組合連合会 参事

5 評価の基準

(1) 評価項目及び評価の視点

評価区分	評価項目	評価の視点
設置目的の達成	1 施設の利用状況	・預託推進や預託牛の発育向上を図るなど、設置目的である「家畜資源の確保及び畜産経営の改善」に沿った運営が行われているか ・施設の利用目標が達成されているか
	2 公の施設としての適切な運営	・環境及び家畜衛生、他関係法令等を遵守した運営が行われているか ・利用者間において公平な取扱いをしているか
経営状況	3 収支計画及び実績	・予算執行の状況は適切か
	4 利用料金の設定	・収支を鑑み、利用料金の設定は適切か
管理運営体制	5 管理経費縮減の取組	・効率的な運営を行い、管理経費の縮減に努めているか
	6 職員の人員配置、職員教育の状況	・責任ある管理運営が可能な職員数を確保し、配置しているか ・労働安全の確保、育成牛の管理、草地及び施設の維持管理に必要な教育・訓練等を行っているか
	7 危機管理体制の構築 (労働安全の確保、災害等緊急時の対応)	・職員や預託牛の事故防止策が講じられているか ・事故や災害発生時の連絡体制、職員や預託牛の安全確保、応急措置など、適切な対応が取られる体制が整備されているか
管理運営状況	8 育成牛の管理状況	・育成牛の適切な飼養管理及び繁殖管理が行われているか ・飼養衛生管理基準による疾病感染の予防・対策が講じられているか
	9 草地の維持管理状況	・草地の適切な維持管理が行われているか
	10 施設等の維持管理状況	・施設・車両・農機具等の適切な維持管理が行われているか
	11 地域社会との協調及び県の事業、試験研究に対する協力	・周辺の自治体や住民団体等と協調し、連携しているか ・県畜産技術研究所が行う放牧技術や受精卵移植技術に関する研究等に協力しているか
サービスの向上	12 畜産農家の利便性向上の取組	・畜産農家の利用しやすさに配慮した取組がなされているか
	13 畜産農家の視点に立った業務の改善や新たな事業展開	・畜産農家のニーズをつかみ、それを踏まえた問題点の解決や新たな試みが実施されているか
改善状況	14 要改善事項に対する改善状況	・前回の外部評価で指摘された要改善事項に対して、改善措置が講じられているか

(2) 評価項目ごとの配点の基準

配点	内容
4	大変評価できる
3	評価できる
2	どちらともいえない
1	余り評価できない
0	全く評価できない

(3) 総合評価

総合評価は、各委員の採点合計の平均点（小数点第2位以下は四捨五入し、小数点第1位まで求める。）に基づいて行う。評価区分は下記のとおり。

総合評価区分	得点率	(参考) H28 年度事業の総配点に対する得点換算
優	総配点の 87.5%以上	45.5 点以上
良	62.5～87.5%未満	32.5 点以上～45.5 点未満
可	50～62.5%未満	26.0 点以上～32.5 点未満
不可	50%未満	26.0 点未満

6 評価結果

「良」: 56 点満点（前年度の要改善事項がないため 13 項目）中、5 人平均で 45.0 点

総配点	a	56 点
評価点	b	45.0 点
得点率	a / b	80.4%
総合評価		良